

食からはじめる健康づくり。 食と農の再発見プロジェクト

対象とする課題

由布市の主要産業の一つである農業は、市民の日々の食材を提供し、健康維持の役割を担うだけでなく、緑豊かな自然景観を生み出す重要な産業であり、由布市の豊かな暮らしを支える基盤となっています。その一方で、次のような課題にも直面しています。

- ① 由布市産の食材を市民のみならず、市外からの訪問客が食べられる場所や購入する場所（店舗）、機会が乏しい。
- ② 農業生産を通して生み出される里山景観や食生活の豊かさ、健康の維持等、市民生活に密接にかかわっている多面的な機能について、市民の共感を得て次世代に伝えていく取り組みが十分ではない。

目 標

「由布の食」に光をあてることで、その食を支える農業と結びつけた取り組みを行い、市民が由布市の食材を味わう喜びを感じ、健康づくりに役立て、地元産品に愛着を持てるようにしていきます。

基本方針

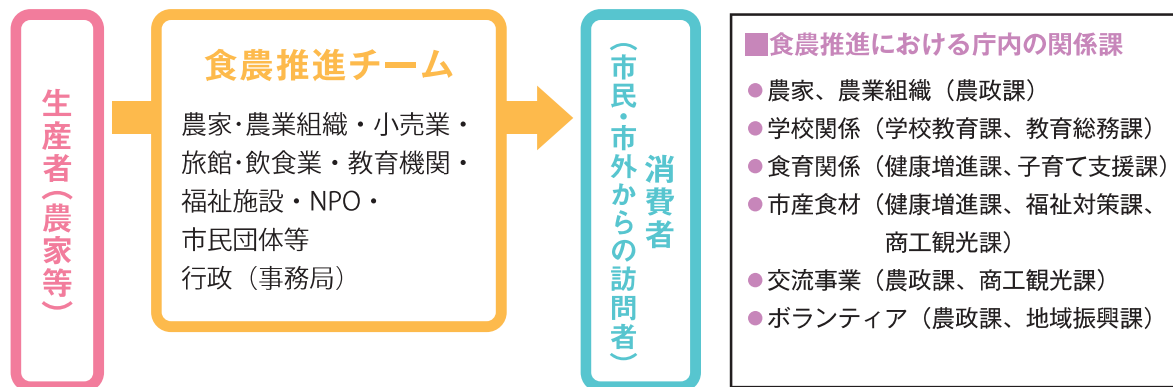
- ① 食材の作り手（生産者）と使い手（消費者）とが交流する機会をつくり、由布市の食材が有する豊かさへの理解を深める情報発信や食育活動を展開する。
 - a) 四季の移り変わりの中で営まれる農のある暮らしや生産現場を体験できる機会を創出する。
 - b) 地元の家庭や料理人の知恵を活かした食材の活用方法等を通して、由布市産食材を活用しながら、郷土料理等の食文化の価値を見直し、食と健康のつながりについても啓発する活動を行う。
- ② 由布市産の食材を市民や市外からの訪問客が食べられる場所や購入する場所（店舗）、機会を創出する。
 - a) 学校や福祉施設等で提供される食事に由布市産食材を導入できる体制を整える。
 - b) 市民や市外からの訪問客が由布市産食材を購入できる機会を創出するための、流通のあり方を検討する。

成果指標

指標名	直近値	目標値	指標の説明
行事参加者数		ー 延べ 1,000 人（H32 年度）	食育や料理教室等イベントの参加者数
市内産農産物使用率	20.7%（H26 年度）	30%（H32 年度）	学校給食等における供給指標指標はセンターでの使用率（金額ベース）
市内産食材への愛着度		ー 50%（有効回答率中） （H32 年度）	プロジェクト前後の生産者・消費者アンケートによる調査

■ 推進体制

生産者（農家等）と消費者（市民・市外からの訪問者）の間をつなぐ食農推進チームを、小売業や旅館・飲食業、教育機関等の関係主体の連携により立ち上げ、由布市産の食材への理解を深める食農教育等の事業を推進する体制を構築します。



■ 目標実現に向けた主な取り組み

	主な取組名	取組内容の説明	担当課	関係課
1	由布市産食材PR事業	・由布市産食材に関する情報（生産者マップ、旬カレンダー等）の整理と発信 ・由布市産食材を食べられる場所や購入できる場所（店舗）の整備と拡大		農政課 地域振興課 商工観光課 健康増進課 福祉対策課
2	学校給食地産地消拡大事業	・食材生産組織が安定的に学校給食に納入できる体制（特定した品目への助成等）の構築 ・生産者に対する情報提供（給食食材の要件、助成内容等） ・学校給食センター（栄養士）との情報交換、連絡調整		農政課 給食センター
3	食農教育推進事業	・関連団体を含めたチーム体制の構築 ・生産者と学校関係者（児童・生徒、保護者、教員、栄養士等）との交流事業 ・由布市産食材を活用した食育活動・健康増進活動の展開 ・生産者と消費者との交流事業（農業体験等） ・農道・水路等の維持管理作業への市民ボランティアの参画		農政課 給食センター 学校教育課 教育総務課 健康増進課 子育て支援課 商工観光課 地域振興課

■ 目標実現に向けたステップと5カ年のスケジュール

市産食材PR事業と食農教育推進事業は庁内体制を整備等準備した後、連携をとりながら推進します。

	主な取組名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	由布市産食材PR事業	調査・予算組				
2	学校給食地産地消拡大事業					
3	食農教育推進事業	準備年	協議・予算組			



食からはじめる健康づくり。
食と農の再発見プロジェクト